

本製品はJEITAコードカラーに対応しています。

車への取り付けは、必ずこの取付説明書と別冊の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

販売店様へ

接続、取り付け作業が完了しましたら、この取付説明書はお客様へお渡しください。

※ 別売製品の接続および取り付けについては、別売製品に付属の説明書も併せてご覧ください。



この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 2007

< KAMZF > < 07B00000 > < CRA4013-A >

はじめに 1 接続・取り付け部品を確認する

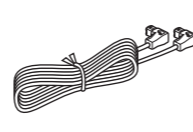
本体・コード関係



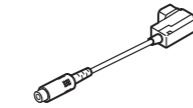
本体 × 1



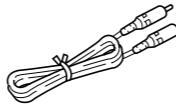
電源コード × 1



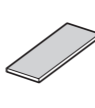
IP-BUSケーブル
(3m) × 1



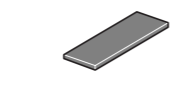
映像出力コード
(15 cm) × 1



RCAビデオコード
(黄) (6m) × 1

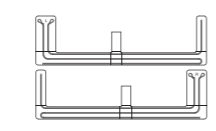


面ファスナー
(やわらかい方) × 2



面ファスナー
(かたい方) × 2

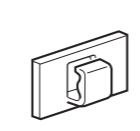
フィルムアンテナ関係



フィルムアンテナ × 1



アンテナケーブル × 1



クランプ × 6



クリーナークロス × 1



アンテナ変換コード × 1
(ミニプラグ→JASOプラグ)

接続の前に知ってほしいこと

接続上のご注意

本機と他の製品では同じ働きのコードでも色が異なる場合があります。本機と他の製品とを接続される場合、それぞれの製品に付属の取付説明書をよくお読みになり、同じ働きのコードどうしを接続してください。

- 黒リード線（アース）は、パワーアンプなどの消費電流が大きい製品のアースとは別々に取り付けてください。まとめて取り付けると、ネジが緩んだり外れたりしたとき、製品の発煙・故障の原因となるおそれがあります。
- 必ず付属の部品を指定どおりに使用してください。指定以外の部品を使用すると故障の原因となります。

接続のポイント

IP-BUSケーブルの接続について

- IP-BUSケーブルは、同じ色どうしを接続してください。（コネクタの接続部分が色分けされています。）違う色のコネクタを接続すると、正常に動作しないことがあります。

電源配線キットを別売しています

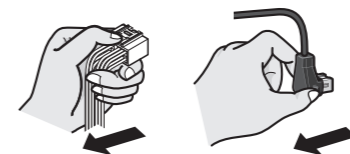
- システム全体の消費電流が大きくなると、電圧が不足する場合があります。そのようなときは、バッテリーから直接電源をお取りください。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

ノイズ防止のために

- ノイズ防止のため、次のものは本機およびナビゲーション本体や、ハイダウェイユニット、他のケーブル類、コード類からできるだけ離して配置してください。
 - * フィルムアンテナおよびそのアンテナコード
 - * FM/AMアンテナおよびそのアンテナコード
 - * GPSアンテナおよびそのアンテナコード
 - * FM多重用アンテナおよびそのアンテナコード
 - * ビーコン受信機およびそのアンテナコード
- それぞれのアンテナコードどうしもできるだけ離してください。一緒に束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。アンテナやアンテナコードにノイズが飛び込むと受信感度が悪くなります。

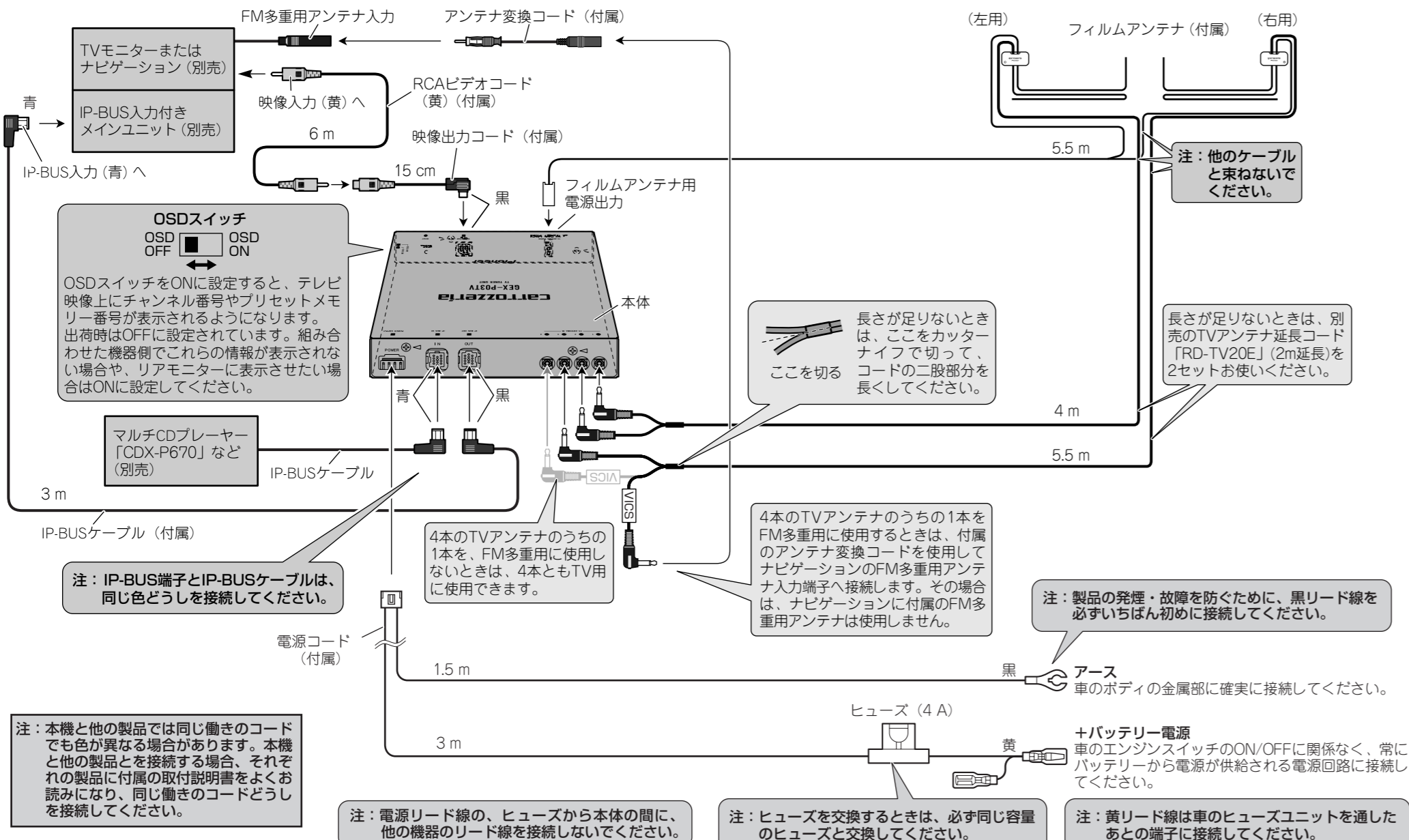
コネクタの着脱のしかた

- コネクタは、“カチッ”と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。スムーズに入らない場合は、色が間違っている可能性がありますので、コネクタどうしの色を確認してください。また、無理に挿入しないでください。故障の原因となります。
- コネクタを外すときは、図のようにコネクタ部分を持ってロックを押しながら引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。



—詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください—

システムの接続



取り付け上のご注意

- 必ず本機に付属の部品を指定どおりに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できず外れたりして危険です。
- 次のような場所には絶対に取り付けしないでください。高温により故障するおそれがあります。
 - *ダッシュボードやリアトレイの上のように直射日光の当たる場所。
 - *ヒーターの吹き出し口の近く。
- ドア近くの雨水がかかりやすい場所には取り付けしないでください。
- フロントシートの下に取り付けるときは、シートのスライドに支障がないように取り付けしてください。
- 平らな面に取り付けてください。平らな面以外に取り付けると、外れたり故障の原因となります。
- しっかりと固定できる場所を選んで取り付けてください。スペアタイヤボードやハッチバックのリアトレイなど、車の振動で動く場所には絶対に取り付けしないでください。
- スペアタイヤ、ジャッキ、工具などの出し入れの邪魔にならない場所を選んで取り付けてください。
- 指定の取り付け方法以外で取り付けると性能を十分に発揮できません。また、故障の原因となります。

取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

- まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認します。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

粘着テープを貼り付ける前に

- 面ファスナーや両面テープを貼り付けるときは、汚れをよく拭きとってください。また、両面テープの接着面は指で触れたり、貼り直したりしないでください。接着力が弱くなり、はがれやすくなります。

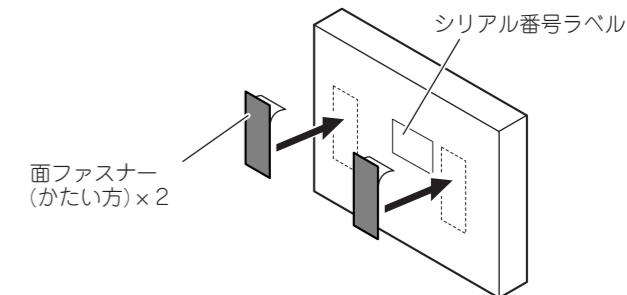
ノイズ防止のために

- フィルムアンテナの取り付けのしかたによっては、ラジオ放送に雑音が入る場合があります。フィルムアンテナは、フィルムアンテナの取り付けの説明に従って正しく取り付けてください。
 - ノイズ防止のため、次のものは本機およびナビゲーション本体やハイダウエイユニット、他のケーブル類、コード類からできるだけ離して配置してください。
 - *フィルムアンテナおよびそのアンテナコード
 - *FM/AMアンテナおよびそのアンテナコード
 - *GPSアンテナおよびそのアンテナコード
 - *FM多重用アンテナおよびそのアンテナコード
 - *ビーコン受信機およびそのアンテナコード
- それぞれのアンテナコードどうしもできるだけ離してください。一緒に束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。アンテナやアンテナコードにノイズが飛び込むと受信感が悪くなります。

面ファスナーを使用して取り付ける

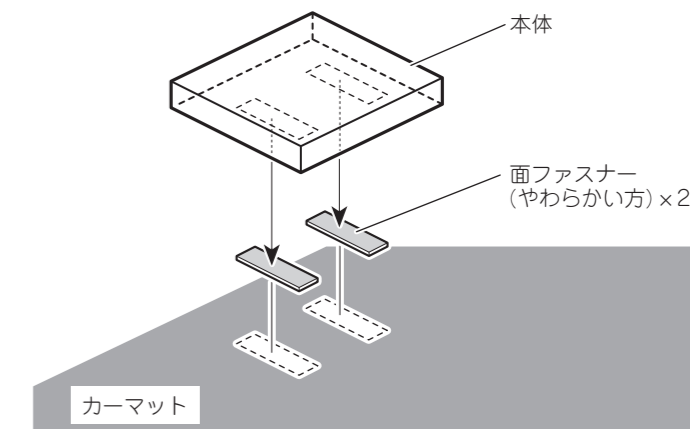
1 面ファスナー (かたい方) を本体の底面に貼り付ける

面ファスナーを貼り付ける前に、汚れをよく拭きとってください。



*シリアル番号ラベルには、製品の型名、シリアル番号が記載されています。面ファスナーを貼るときは、シリアル番号ラベルを隠さないように貼り付けてください。

2 面ファスナー (やわらかい方) を取り付け場所に貼り付ける



*面ファスナー (かたい方) がカーマットに貼りつく場合は、カーマットに直接取り付けることもできます。この場合、面ファスナー (やわらかい方) は使用しません。

取り付け上のご注意

- 保安基準[※]に適合させるため、本書をよくお読みになり、正しく貼り付けてください。
*保安基準とは、道路運送車両の保安基準第29条第4項第6号に対する、国土交通省令第95号のことを言います。
- 車室内に取り付けるアンテナは、エアコン用モーターなどから出るノイズにより、テレビの映りが悪くなる場合がありますが、故障ではありません。
- アンテナは、フロントウィンドウ上部専用です。車体の側面（ドアやフロントクォーターウィンドウなど）や、後面（リアウィンドウなど）に貼り付けると、受信感度が低下する場合があります。
- 車種によって、取り付けられない場合があります。販売店にご相談ください。
- 熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど、電波を通さないガラスを使用した車種の場合には受信感度が極端に低下します。お買い上げの販売店にご確認ください。
- フロントガラスに横352 mm × 縦103 mmの2枚分のスペースが無い車には、取り付けることができません。
- ピラーにフロントエアバッグを搭載している車両には、取り付けることができません。

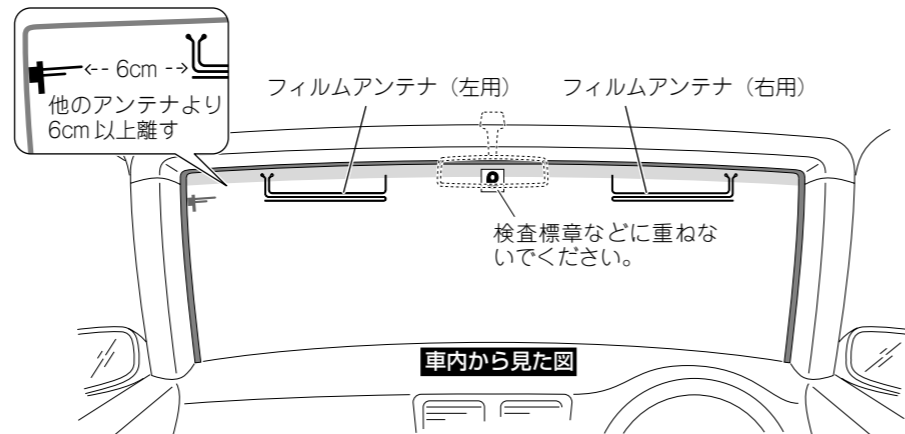
- 必ずフロントウィンドウの指定の位置・寸法内に貼り付けてください。
- 別売の地上デジタルチューナーなどのフィルムアンテナを取り付ける場合、お互いの干渉を考慮して、貼り付け位置を決めてください。
- フィルムアンテナは折り曲げないように、取り扱いに注意してください。
- 作業場所は、風が無く、空气中にゴミ、ホコリなどが無い場所を選んで下さい。
- 気温が低いときに作業を行う場合は、接着力の低下を防ぐため、車内ヒーターやデフロスタースイッチをONにしてフロントウィンドウを暖めておいてください。

一度貼り付けると、粘着力が弱くなるため貼り直しできません。
必ずコードおよびフィルムアンテナを仮止めし、コードの引き回しなどを十分に検討してから貼り付けてください。

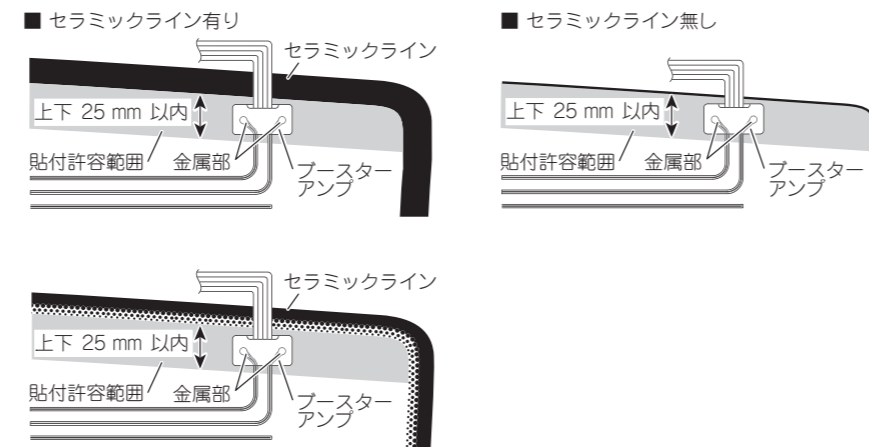
貼り付け位置について

必ずお守りください

運転に安全な視界を確保し、性能を十分に発揮させるために、必ず下図の「ブースターアンプおよび金属部の貼付許容範囲」の位置に貼り付けてください。許容範囲外に貼り付けると道路運送車両の保安基準に適合せず、車検に通らなかったり、整備不良の対象となります。

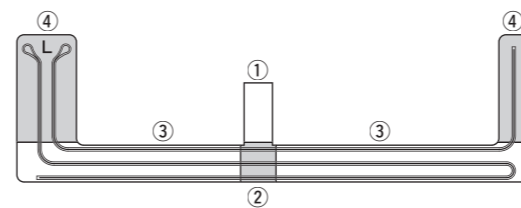


ブースターアンプおよび金属部の貼付許容範囲

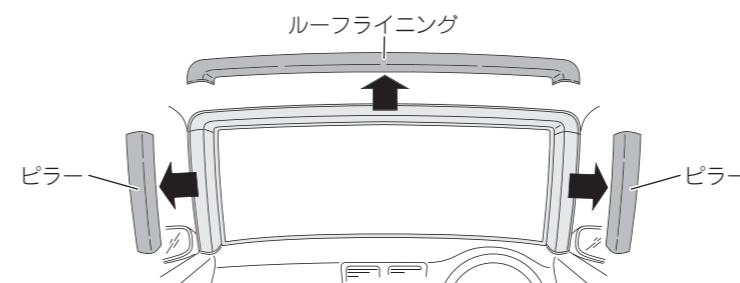


フィルムアンテナを貼り付ける

フィルムアンテナの裏シートには5本のスリットが入っています。下図の番号順に裏シートをはがし、フィルムアンテナをフロントウィンドウに貼り付けます。

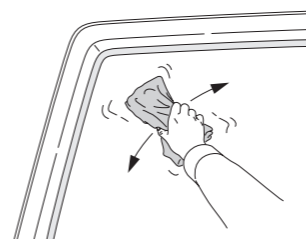


1 車内の内張り（ピラー、ルーフライニングなど）を取り外す



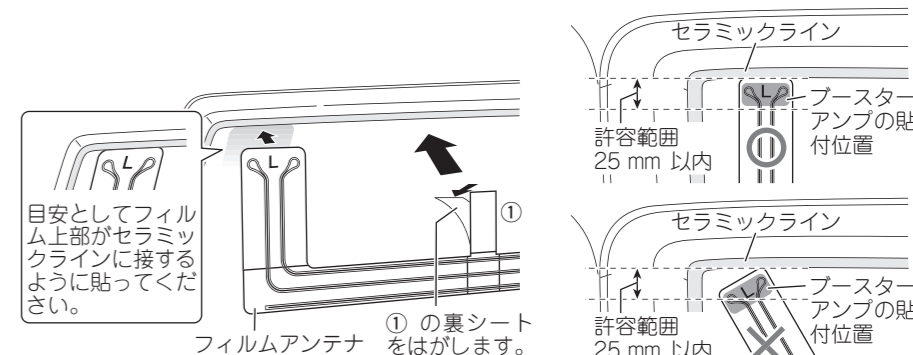
2 フロントウィンドウ内側の汚れ、油などを取り除く

フィルムアンテナを貼り付ける場所の湿気、ホコリ、汚れ、油などを、付属のクリーナークロスで取り除いてください。



3 ①をはがし、フロントウィンドウ内側に仮貼りを行い、貼り付け位置を決める

フィルムアンテナには左用、右用があります。④は左側に、⑥は右側に貼り付けてください。

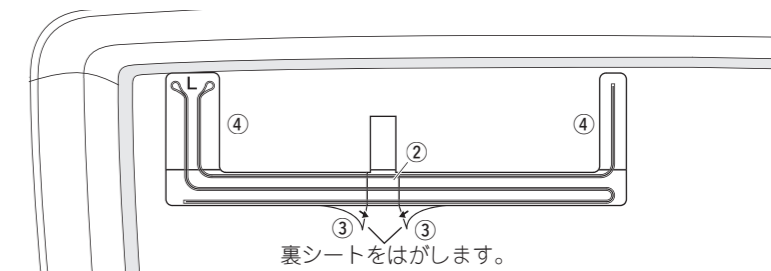


メモ

- 取り付け例としてセラミックライン有りの車で説明しています。詳しくは「ブースターアンプおよび金属部の貼付許容範囲」を参照してください。

4 ②～④を番号順にはがしながら、フロントウィンドウにしっかりと密着させる

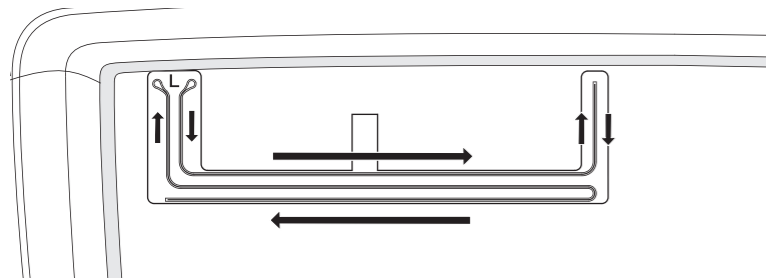
- ③、④は左右どちらが先でもかまいません。
- ③、④をはがすときには、内側からシワにならないように密着させてください。



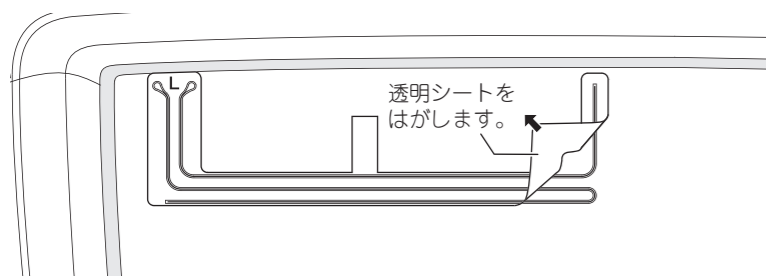
フィルムアンテナを貼り付ける

5 透明シートの上から
しっかりと密着させる

下図の矢印の方向に、アンテナパターンに沿ってこすり、密着させてください。



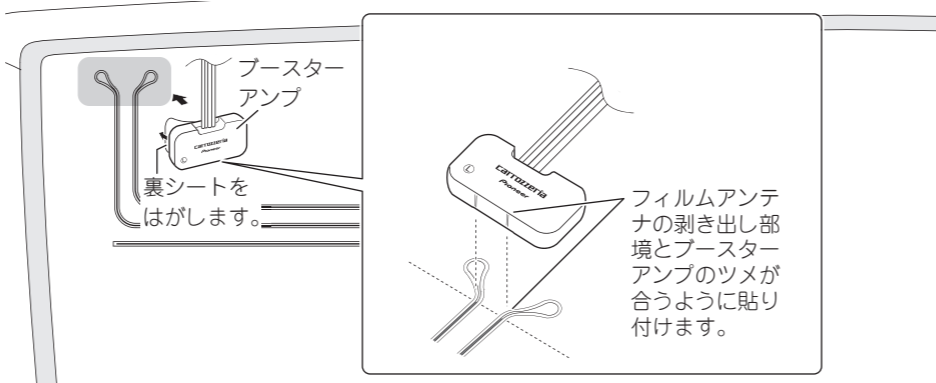
6 透明シートを
ゆっくりとはがす



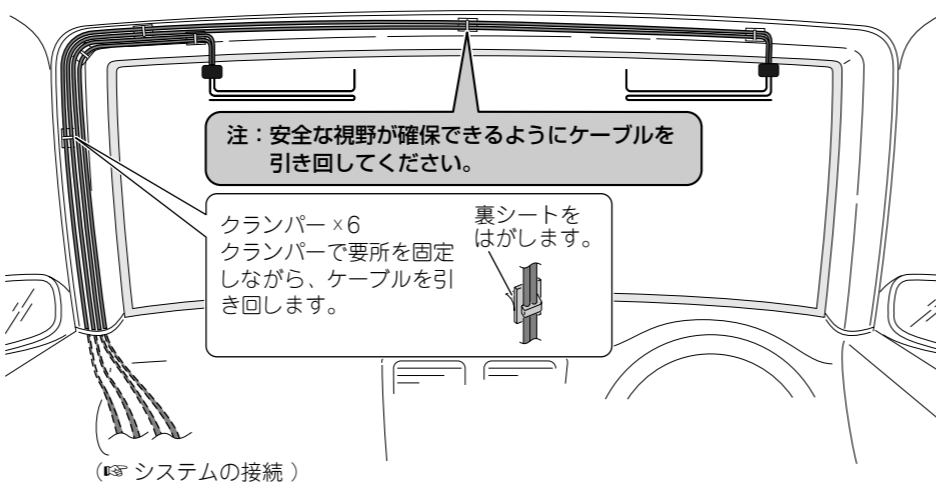
7 残りのフィルムアンテナも
同様に貼り付ける

8 ブースターアンプをフィルムアンテナの
金属部に貼り付ける

ブースターアンプには左用、右用があります。㊶は左側に、㊷は右側に貼り付けてください。



9 ケーブルを
引き回す



10 内張りを
元に戻す

接続・取り付けが終わったら、次の操作を行って本機が正常に動作することを確認してください。

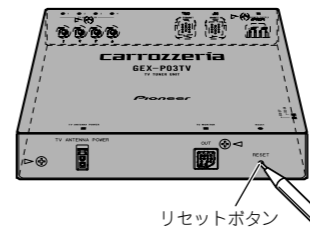
1 接続・取り付けをもう一度
確認する

確認
接続・取り付けに誤りがないか、各コネクタは確実に接続されているか、もう一度、目で見て確認してください。

2 車のエンジンをかける



3 ボールペンの先などで
本機のリセットボタンを押す



4 本機の動作を確認する
(E3 取扱説明書)

- 接続する機器によって、映像入力の設定が必要になります。→『お使いの機器の取扱説明書』
- 購入後はじめて本機を使うときは、操作の前にチャンネルの登録を行ってください。→『取扱説明書』